

1 漢字に対する興味や関心を高めるために、具体的な物や絵と漢字の字形を結び付けた指導について（1年）

<p>【板書事項】</p> <p>なかま分けゲームをしよう</p> <p>・かず 一 二 三 四 … 百 千</p> <p>・ひと 人 男 女 子</p> <p>・からだ 目 口 耳 手 足</p> <p>・よう日 日 土 火 … 土</p> <p>・いろ 青 赤 白</p> <p>・しぜん、てんき 山 川 林 森 田 花 草 竹 石 夕</p> <p>・ばしよ、べんきよう 町 村 学 校 文 字 先 生 本 名 年 齢</p> <p>・うごき 出 入 見 立 休</p>	<p>【指導の流れ】</p> <p>1 一年生で習ったすべての漢字を仲間分けするゲームをする。 「これから漢字仲間分けゲームをします。グループごとに漢字をなかまに分けましょう。」</p> <p>2 教師が仲間分けするグループを先に示しておき、それを基に仲間分けをさせる。 ほかにも、 「いきもの」… 犬 虫 貝 「天気」 … 雨 天気 空 など児童にグループを考えさせるのもよい。</p>	<p>【留意点】</p> <p>1 この場合は、学年末に八十字すべてを学習した後に仲間分けすることを想定している。 このほかに、先に項目を示しておき、新出漢字を学習するたびに仲間分けを行っていく方法も考えられる。</p> <p>2 仲間分けをしながら新出漢字の学習を進めることで、それぞれの漢字を関連付けながら覚えることが期待される。</p>
--	---	--